

# BudgeTone-100 取扱説明書 ver2.0.0



このたびは、BudgeTone-100 をお買い上げいただき誠にありがとうございます。  
ご使用前には、本書を必ずお読みください。お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保管してください。

下記の製品が全て入っていることをご確認ください。

- ・ BudgeTone-100 本体
- ・ AC アダプタ
- ・ 受話器
- ・ カールコード
- ・ イーサネットケーブル
- ・ 取扱説明書

## ■ 免責事項

- ・ 機能・仕様については予告なく変更する事があります。
- ・ お客様及び当社のネットワーク環境により、ノイズ・音の途切れ・不通などの現象が起こる事があります。また、通話品質の保証はいたしません。
- ・ 個人の聴力により通話品質に差が生じた場合について、当社は一切の責任を負いません。
- ・ 日本国外でのご使用に際する障害について、当社は一切の責任を負いません。
- ・ BudgeTone-100 は定期的なサーバメンテナンスを行うため、事前の告知なく一時的にサービスが停止する場合があります。
- ・ 商品の故障、誤動作などの要因で電話が使えなかった事による付随的障害については、当社は一切その責任を負いません。

## ■ お手入れ

柔らかい乾いた布で拭いてください。ぬれた雑巾は使用しないでください。ベンジン・シンナーなどの揮発性の薬品は本体を傷めますので、使用しないでください。科学雑巾をご使用になる時は、科学雑巾に添付の注意書をよくお読みください

## ●接続方法

1. 本体と受話器を受話器コードでつなげる
2. イーサネットケーブルを本体とブロードバンドルーターに差し込む
3. ACアダプタのプラグをコンセントに差し込む
4. ACアダプタを本体に差し込む

※ 接続の順番は必ず守ってください。ケーブル、アダプタは確実に差し込んでください。  
接続してから通話ができるまでには数分かかりますので、しばらくお待ちください。

## ●BudgeTone-100 とは

BudgeTone-100 とは、弊社サービスにてお使いいただける電話機です。一般加入電話としてはご利用できません。本製品をご利用いただくためには、インターネットサービスプロバイダーに加入しておく必要があります。ご利用のモデムにブロードバンドルーター機能がない方は、別途ブロードバンドルーターが必要となります。



### ① ディスプレイ

様々な設定や、相手の電話番号などが確認できます。

また、その電話機に割り当てられている内線に留守番電話や、通話録音データがある場合、点滅します。

### ② ↑ ↓ (音量・Menu・ブラウザキー)

受話音量を 7 段階に調節します。MENU での設定確認の際、次項目を表示します。

### ③ CALLERS (着信履歴)

着信履歴は 10 件まで表示可能です。受話器を上げ CALLERS ボタンを押していくと、新しい着信履歴から古い着信履歴にさかのぼって表示されます。

ただし、AC アダプタやイーサネットケーブルを抜くと全ての履歴が消去されます。ご注意ください。

### ④ SPEAKERPHONE

ハンズフリー機能です。受話器を置いたままでも通話ができます。

### ⑤ MENU (メニュー)

電話機にセットされた設定が確認できます。MENU で設定確認の際、次項目を表示します。

### ⑥ CALLED (発信履歴)

発信履歴は 10 件まで表示可能です。受話器を上げ CALLED ボタンを押していくと、新しい発信履歴から古い発信履歴にさかのぼって表示されます。

ただし、AC アダプタやイーサネットケーブルを抜くと全ての履歴が消去されます。ご注意ください。

⑦ MESSAGE

留守番電話の確認に使用します。

⑧ HOLD(保留)

通話中、相手に待ってもらう時に使用します。こちらの声や音は相手に聞こえません。

⑨ TRANSFER(転送)

電話機の機能として、転送をすることが出来ます。※弊社サービスでは非対応です。

[操作方法]

Transfer を押すと、相手側に保留音が流れます、その後、転送したい内線番号をダイヤルします。転送先の内線と会話せずに転送する「スクリーン転送」となります。

※ 保留し、転送先の内線電話と会話した後に転送する場合は、弊社サービス基本機能の「#9」ダイヤルをご使用下さい。

⑩ CONFERENCE(会議)

電話機の機能として、今の通話に第三者を参加させることが出来ます。※弊社サービスでは非対応です。

[操作方法]

通話中に、CONFERENCE を押す→参加させたい内線番号をダイヤルする→相手が出たら、もう一度 CONFERENCE を押す

⑪ FLASH(フラッシュ)

電話機の機能として、押すことにより、現在の通話を保留し、もう一通話することが出来ます。

また、TRANSFER する際に使用します。

⑫ SEND(再ダイヤル)

直前にかけた相手にかけ直す事ができます。相手が話し中や留守の時のかけ直しに便利です。

⑬ MUTE(ミュート)／DEL(削除)

通話中に自分の音声相手に届かなくなります。また、発信履歴・着信履歴を消去します。

## ●設定方法

① BudgeTone-100 本体の IP アドレスを確認する。

受話器を上げた状態で、「MENU」ボタンを押しますと、ディスプレイに IP アドレスが表示されます。

② web ブラウザから、設定ページを開く。

BudgeTone-100 と同じネットワークに接続された PC から、インターネットエクスプローラー等 web ブラウザを起動し、先ほど確認した IP アドレスを、以下のように打ち込みます。

[http://\(IP アドレス\)/](http://(IP アドレス)/)

例: 192.168.001.002 だったら、<http://192.168.1.2/>



③ 上記画面が表示されますので、パスワードを入力し、Login をクリックします。(初期パスワードは「admin」)

※不正ログインを防止するため、ログイン後必ず任意のパスワードに変更して下さい。

変更方法が不明な場合、弊社にお問い合わせください。

④ 設定画面が web ブラウザに表示されますので、以下のように設定します。

The screenshot shows the 'Grandstream Device Configuration' page with the 'ADVANCED SETTINGS' tab selected. The 'SIP Server' and 'Outbound Proxy' fields are set to 'ログインサーバー'. The 'SIP User ID', 'Authenticate ID', and 'Name' fields are set to 'ユニーク'. The 'Authenticate Password' field is set to 'パスワード'. In the 'Advanced Options' section, the 'Preferred Vocoder' dropdown menu is highlighted with a red circle, showing a list of choices from 1 to 8, all of which are currently set to 'PCMU'. Other settings include 'G723 rate' (6.3kbps), 'iLBC frame size' (20ms), 'iLBC payload type' (97), 'Silence Suppression' (No), 'Voice Frames per TX' (2), 'Layer 3 QoS' (48), and 'Layer 2 QoS' (802.1Q VLAN Tag 0, 802.1p priority value 0).

**SIPServer: &OutboundProxy:**

ログインサーバーアドレスを入力します。

**SIPUserID: &AuthenticateID: &Name:**

ユニークを入力します。

**AuthenticatePassword:**

登録時にメールでお伝えしたパスワードを入力します。

もし、マイページにてパスワードの変更を行った場合は、その変更したパスワードを入力します。

The screenshot shows the 'Advanced Options' section of the Grandstream Device Configuration page. The 'Allow incoming SIP messages from SIP proxy only' checkbox is checked. The 'Use DNS SRV' checkbox is checked. The 'User ID is phone number' checkbox is checked. The 'SIP Registration' checkbox is checked. The 'Unregister On Reboot' checkbox is checked. The 'Register Expiration' field is set to 3600. The 'Early Dial' checkbox is checked. The 'Dial Plan Prefix' field is empty. The 'No Key Entry Timeout' field is set to 4. The 'Use # as Dial Key' checkbox is checked. The 'local SIP port' field is set to 5060. The 'local RTP port' field is set to 5004. The 'Use random port' checkbox is checked. The 'NAT Traversal' checkbox is checked. The 'Yes, STUN server is:' checkbox is checked, and the field next to it is empty. The 'keep-alive interval' field is set to 20. The 'Use NAT IP' checkbox is checked. The 'Proxy-Require' field is empty. The 'Voice Mail UserID' field is set to 999. The 'SUBSCRIBE for MWI' checkbox is checked.

Offhook Auto-Dial:  (User ID extension to dial automatically when offhook)

Enable Call Features:  No  Yes (if Yes, Call Forwarding & Call-Waiting-Disable are supported locally)

Disable Call-Waiting:  No  Yes

Send DTMF:  in-audio  via RTP (RFC2833)  via SIP INFO

DTMF Payload Type:

Send Flash Event:  No  Yes (Flash will be sent as a DTMF event if set to Yes)

Onhook Threshold:

NTP Server:  (URI or IP address)

system ring tone

Default Ring Tone:  custom ring tone 1, used if incoming caller ID is

custom ring tone 2, used if incoming caller ID is

custom ring tone 3, used if incoming caller ID is

Send Anonymous:  No  Yes (caller ID will be blocked if set to Yes)

Anonymous Method:  Use From Header  Use Privacy Header

Special Feature:

Syslog Server:

Syslog Level:

Firmware Upgrade and Provisioning: Upgrade Via  TFTP  HTTP

Firmware Server Path:

Config Server Path:

Firmware File Prefix:  Firmware File Postfix:

Config File Prefix:  Config File Postfix:

Automatic Upgrade:

No  Yes, check for upgrade every  minutes (default 7 days)

Always Check for New Firmware

Check New Firmware only when F/W pre/suffix changes

Firmware Key:  (in Hexadecimal Representation)

Authenticate Conf File:  No  Yes (cfg file would be authenticated before acceptance if set to Yes)

Lock keypad update:  No  Yes (configuration update via keypad is disabled if set to Yes)

Allow conf SIP Account in Basic Settings:  No  Yes

Override MTU Size:

All Rights Reserved Grandstream Networks, Inc. 2005

#### NATTraversal:

「Yes,STUNServeris:～」を選択します。入力欄は空欄にします。

#### VoiceMailUserID:

「999」を入力します。

#### SendDTMF:

「ViaRTP(RFC2833)」を選択します。

※ 留守番電話録音時に、LEDを点滅させる機能(MWI機能)は、SUBSCRIBEforMWIをYesに設定します。

#### NTPServer:

「ntp.jst.mfeed.ad.jp」を入力します。

入力が完了したら、「Update」をクリックし、次に「Reboot」をクリックします。  
本体が再起動し、設定が有効になります。

## 安全にお使いいただくために

本書では、製品を安全にお使いいただくための注意事項を次のように記載しています。  
注意事項を守っていただけない場合、どの程度の影響があるかを表しています。



この表示の注意事項を無視して誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



この表示の注意事項を無視して誤った取扱をすると、人が障害を負う可能性が想定される内容を示しています。



煙が出たり、変なにおいがするときは電話機コードを抜く

そのまま使用すると、火災や事故の原因となります。お買い上げの販売店に修理を依頼してください。



分解・改造しない

火災・感電・故障の原因となります。



開口部から金属類を差し込んだり、落とし込んだりしない

万一、入った時は電話機のコードを抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電・故障の原因となります。



内部に水や異物を入れない

水や異物を入れると、火災・感電の原因となります。万一、水や異物が入った時は、電話機のコードを抜き、販売店に連絡してください。



故障や異常状態のまま使用しない

火災・感電の原因となります。



雷が発生したときは、本機に触れない

感電の原因となります。



風呂やシャワー室では使用しない

火災・感電・故障の原因となります。



本機の上や近くには水などの入った容器や小さな金属物を置かない

こぼれたり、中に入ったりすると火災・感電・故障の原因となります。



水などで濡らさない

本機は生活防水タイプではありません。万一、内部に水などが入った時は電話機のコードを抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電・故障の原因となります。



調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気があたるところに置かない

火災・感電・故障の原因となることがあります。



直射日光の当たるところに置かない

内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。



湿気やほこりの多いところに置かない

火災・感電・故障の原因となることがあります。



極端に寒いところや急激な温度変化のあるところに置かない

故障の原因となることがあります。



不安定な場所や振動の多いところに置かない

落ちたり、倒れたりすると、けが・故障の原因となることがあります。



受話器の受話部に吸着物がないか確認してから使う

受話器の受話部の磁石に、画鋸やピン、ホチキスなどの金属が付着し、思わぬけがをすることがあります。

## 故障かな？と思ったら

修理・交換を依頼する前にもう一度下記の表をご確認ください。

それでも具合の悪いときは弊社へお問い合わせください。

症状	原因	処置
障害全般	電源ケーブルの抜き差しをお願いします。(数回行ってください) 電源ケーブルを抜いてから再度接続するまでは、1分以上お待ちください。 上記を行っていただいても改善されない場合は、ご利用のルーターのメーカー・名称・商品番号及びブロードバンド環境をご連絡ください。	
呼び出し音が鳴らない	イーサネットケーブルがはずれていませんか。	イーサネットケーブルの接続を確認してください。
	ACアダプタがはずれていませんか。	ACアダプタの接続を確認してください。
	呼び出し音量の設定を変更しましたか。	↑↓(音量・Menu・ブラウザキー)で音量を調節してください。
	ディスプレイに表示される設定を変更しましたか。	変更した設定を元に戻すか、イーサネットケーブルを抜き差し(再起動)してください。
通話が途切れるノイズが入る	ネットワーク環境に異常はありませんか。	ネットワーク環境を確認し、問題箇所を修復してください。

## ●設定方法

初期化作業を行うと設定されたデータが全て消去されます。

初期化作業後はご利用のサービスに必要な情報を再度設定する必要があります。

1. 本体底部の MAC アドレス(000B8200XXXX)をメモします。
2. 次に本体 MENU ボタンを押し、↑ ↓ ボタンを数度押し「reset」と表示させます。
3. メモした MAC アドレスを下記変換表を用いて本体で入力します

0-9: そのままの数字

A: 22 B: 222

C: 2222 D: 33

E: 333

F: 3333

例 MAC アドレスが「000B8200E395」の場合「0002228200333395」と入力します

4. 入力が終わりましたら、MENU ボタンを押します。電話機が再起動され、設定が初期化されます。